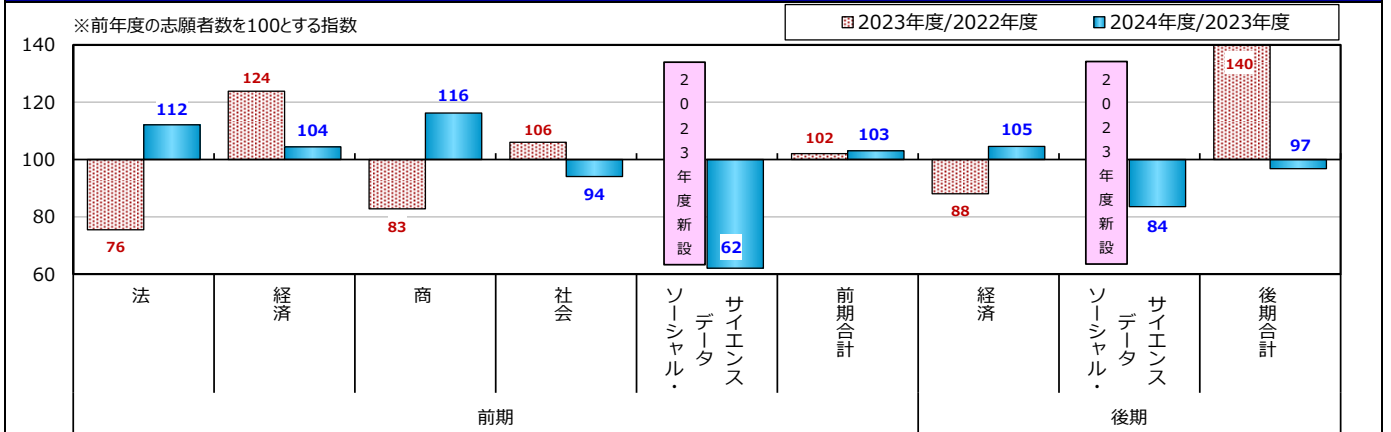


一橋大：前期はやや増加で4年連続増加、後期はやや減少

前期：+80人 後期：-56人



COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は80人(103)のやや増加で4年連続増加、志願者数は6年ぶりに2,700人を上回った。志願倍率も3.3倍→3.4倍にアップ。後期は56人(97)のやや減少。新設2年目のソーシャル・データサイエンスは前期、後期のいずれも前年度高倍率を敬遠された結果、大幅減少。

<前期日程>

- 法(112)は、前年度大幅減少の反動で増加。志願倍率は2.9倍→3.2倍にアップ。
- 経済(104)は、やや増加で2年連続増加。志願者数は3年ぶりに600人を上回った。志願倍率も3.3倍→3.4倍にアップ。
- 商(116)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率は2.7倍→3.4倍→3.0倍→3.5倍とアップダウンが継続。
- 社会(94)は、やや減少で3年ぶりに減少。志願倍率は3.6倍→3.4倍にダウン。
- 新設2年目のソーシャル・データサイエンス(62)は、前年度の高倍率から敬遠され大幅減少。志願倍率は6.1倍→3.8倍にダウンだが、前期全体の志願倍率3.4倍を上回り、5学部中では最も高倍率。
- 志願倍率の基準による第1段階選抜は全学部で実施され、それぞれの合格率は、法が93.7%、経済が89.4%、商が85.4%、社会が88.8%、ソーシャル・データサイエンスが84.1%。ソーシャル・データサイエンスは、前年度の51.6%からアップし厳しさが緩和。

<後期日程>

- 経済(105)は、前年度減少の反動は小さく、やや増加。志願倍率は18.9倍→19.7倍にアップ。
- 新設2年目のソーシャル・データサイエンス(84)は、前年度の高倍率から敬遠され大幅減少。志願倍率は25.8倍→21.5倍にダウンしたが、前年度同様に経済を上回った。
- 志願倍率の基準による第1段階選抜は、経済とソーシャル・データサイエンスで実施され、それぞれの合格率は67.2%、79.2%。